

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2015 年第 21 週
(5/18~5/24)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

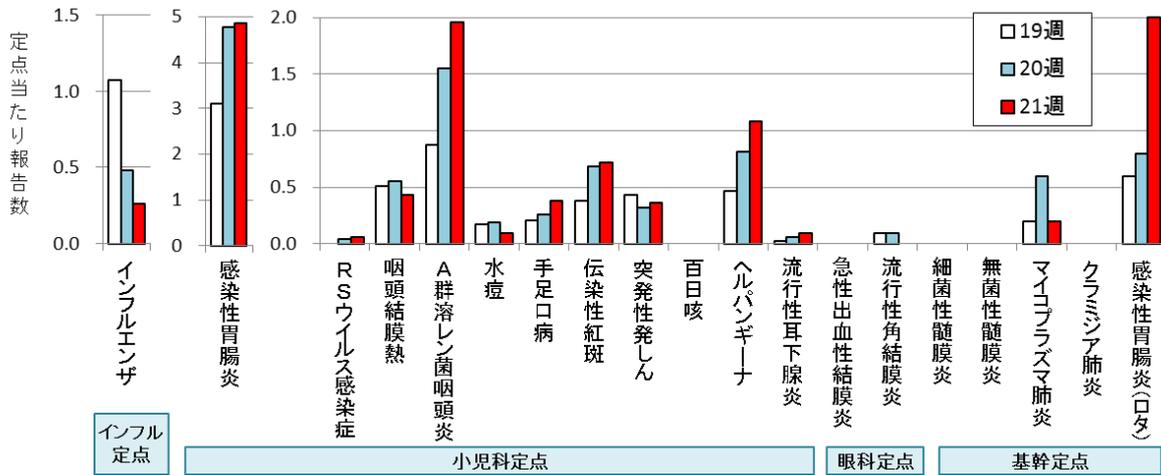
- ◇ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎はさらに増加し、特に岐阜地区で多く報告されています。
- ◇ 伝染性紅斑は、先週に引き続き患者数が多い状態です。
- ◇ ヘルパンギーナは、先週に引き続き岐阜地区で多く報告されています。
- ◇ 6 月 1 日～6 月 7 日は H I V 検査普及週間です。 →トピックス

■ 定点把握対象疾患 (インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所)

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所 (定点当たり報告数)
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 9 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、風しん 1 例

● 2015 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	140 例	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2 例	腸チフス 1 例
4 類感染症	つつが虫病	1 例	レジオネラ症 8 例
	デング熱	4 例	
5 類感染症	アメーバ赤痢	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症 25 例
	ウイルス性肝炎	1 例	水痘 (入院例) 2 例
	カルバペ ン耐性腸内細菌科細菌感染症	7 例	梅毒 3 例
	後天性免疫不全症候群	6 例	播種性クリプトコックス症 1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	風しん 1 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《後天性免疫不全症候群（エイズ）》

◆ 6月1日～6月7日はHIV検査普及週間です

厚生労働省では、毎年6月1日～7日を「HIV検査普及週間」とし、HIV検査の普及を図る機会としています。

HIV検査は、県内の保健所で無料・匿名で受けることができます。結果が陰性の場合には即日お知らせできる迅速検査を導入しています。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/sonota/aids-advice.data/chi-rashi260401.pdf> (保健医療課 HP)

HIVに感染していても、AIDS発症前にHIV感染を早期発見できれば、適切な治療によりAIDS発症を抑えることができます。

～感染の心配がある方は、この機会にぜひ検査を受けることをおすすめします～

◆ HIV感染者・AIDS患者の発生状況

日本では、年間約1,500人の新規HIV感染者及び新規AIDS患者が報告されています。

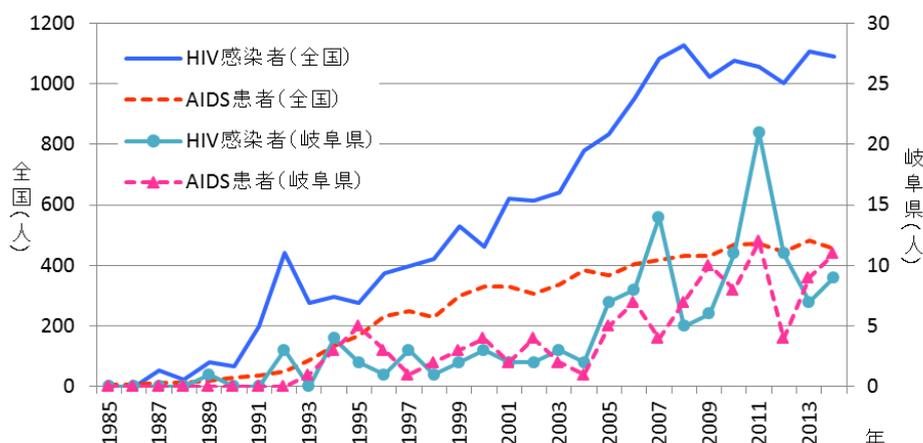
2014年は、1,546人（HIV感染者1,091人、AIDS患者455人）が新規に報告され、ここ数年ほぼ横ばいに推移しています。その中で多数を占めるのは日本国籍男性で、感染経路としては同性間の性的接触が過半数を占めています。

また、HIV感染者は20～30代で、AIDS患者は30代以上で多く報告されています。

岐阜県では、2014年、HIV患者9人、AIDS患者11人の報告がありました。このうち日本国籍男性が19人、同性間性的接触を感染経路とするものが15人と多数を占め、全国と同様の傾向を示しています。また、県内では、全国と比較してAIDS患者の割合が高くなっています。

今後、特にMSM（男性と性行為を行う人）に対して広くHIV検査の普及を図り、早期発見・早期治療によりAIDS発症者を減少させることが重要となっています。

新規HIV感染者・AIDS患者報告数年次推移

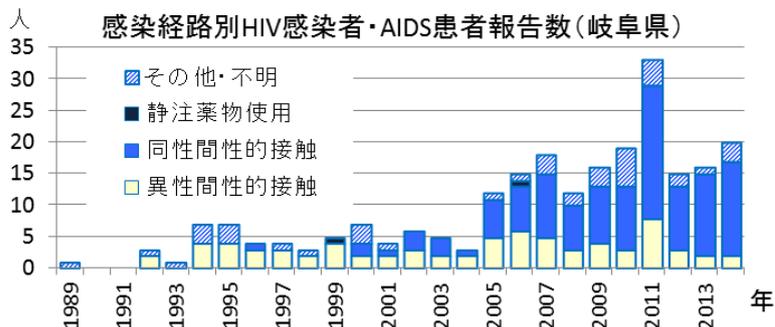


HIV感染者：初回報告時にHIVに感染しているがAIDSを発症していないもの
 AIDS患者：初回報告時にAIDSを発症しているもの

岐阜県のHIV感染者・AIDS患者報告数

	合計	男	女
2014年新規	20人	19人	1人
HIV感染者	9人	8人	1人
AIDS患者	11人	11人	0人
1989年からの累計	236人	213人	23人
HIV感染者	128人	110人	18人
AIDS患者	108人	103人	5人

感染経路別HIV感染者・AIDS患者報告数(岐阜県)



★エイズとは

HIV（ヒト免疫不全ウイルス：Human Immunodeficiency Virus）の感染により、免疫機能が低下した結果、感染症などの病気を発症した状態をエイズ（AIDS：Acquired Immunodeficiency Syndrome、後天性免疫不全症候群）といいます。「HIV感染＝エイズ」ではなく、HIVに感染した後、自覚症状のない状態が平均8～10年続き、徐々に免疫力が低下して様々な病気を発症し、エイズの状態になります。

★感染症法における取扱い

後天性免疫不全症候群は、感染症法において5類感染症全数把握対象疾患に定められており、患者を診断した医師は保健所に届け出なければなりません。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouhou-kijun.html>（保健医療課 HP）

■直ちに届出が必要な疾患が追加されました（平成27年5月21日）

5類感染症のうち「**侵襲性髄膜炎菌感染症**」及び「**麻しん**」について、診断した医師は、患者の住所、氏名等の個人情報を含め、直ちに保健所長を通じて都道府県知事に届け出ることとなりました。

これに伴い、届出基準・届出様式が一部改正されました。

■後天性免疫不全症候群の届出基準・届出様式が一部改正されました。（平成27年5月21日）

AIDS指標疾患の非ホジキンリンパ腫に係る記載が一部変更されました。

届出基準・届出様式は、こちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouhou-kijun.html>（保健医療課 HP）

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/kenko-fukushi/hokekan/kansensyo/>